

平成 25 年度日本心不全学会市民公開講座が広島市で開催される

昨年の東京に続き日本心不全学会市民公開講座が平成 25 年 11 月 2 日（土）に広島市で開催され、市民及び医療従事者あわせて約 180 名の参加がありました。広島心臓いきいき推進会議、広島県医師会、広島県が共催しました。



▲平松恵一広島県医師会長による開会挨拶の様子

平松恵一広島県医師会長の開会挨拶に続き、磯部光章日本心不全学会理事長をはじめ複数の専門医より「心不全について知り、これからの医療について考える」、看護師、管理栄養士、理学療法士からは「心臓をいたわり毎日の生活に役立つ知識・行動」についてそれぞれ講演を行い、総合討論では「心不全と心筋梗塞はどう違うのか」、「心臓病があっても運動をしてもよいのか」など会場からの質問に、講師陣が回答をおこないました。閉会の挨拶は笠松淳也広島県医療福祉局長に頂きました。

参加者の受講後アンケートでは、講座は理解しやすい内容であり、「イメージばかりが先行していましたが、心不全について“正しく知る”ことができて良かった。危険因子をなくすように努めたい」、「BNP について初めて知ったが、よく分かった」、「治療入院期間は短く、家庭に帰ってからがとても大事であり、自分及び家族との協力や努力によって明るく楽しく生活出来ることが理解でき嬉しく思った」、「他職種によるチームケアの大切さ、強さ改めて痛感した」、「生活に密着した、実行しやすい内容だったので、明日から活かしていきたい」などの感想や意見が寄せられました。また、「医療の現場で本当に役立つ内容だった」という医療従事者の意見もあり、参加者の満足度の高い市民公開講座となりました。



▲ 総合討論にて会場からの質問に答える講師陣

【講演内容】

心臓の病気とこれからの医療問題	土手慶五
心不全とはどんな病気ですか	広島県医師会常任理事・広島市立安佐市民病院副院長 木原康樹
心不全に立ち向かう医療の最前線	広島大学病院心不全センター長・ 磯部光章
BNP 測定は心不全発見の窓	日本心不全学会理事長・東京医科歯科大学循環器内科学教授 北川知郎
心臓をいたわる生活をしよう	広島大学大学院医歯薬保健学研究科循環器内科学助教 水川真理子
心臓にやさしい食事とは？	広島大学病院心不全センター看護師 岡 壽子
足腰を鍛えると心臓はうれしい	広島大学病院栄養管理部副部長・心不全センター管理栄養士 田代尚範
	広島大学病院心不全センター理学療法士・心臓リハビリテーション指導士